

.....
営業力を低コストで効率よく、
身も心も疲れない快適な営業法を身に付けるためのメールマガジンvol.5
.....

こんにちは

お彼岸を迎えまして春本番と言ったところですね
15日に申告、そして月末に消費税の納付でホッと一息、大きな山を越えた感
もありますね

とは言え、新年度。
花見も良いけどウカウカしてもいられないような景気状況ですね
中小企業営業支援会の佐藤です。

今回もよろしくお願ひ致します。

このメールは、当ホームページ(<http://www.eNirvana.biz>)より、あなたの
会
社に「営業勝ちパターン」を設ける必勝メルマガ!にてご登録頂けました方へ
お
送りしております。

【津波と高潮】

昨年暮れ大きな災害をもたらしたのが津波である。
先日の九州での突如の大地震でも津波の注意報が伝えられました
この言葉は、そのまま「TUNAMI」と国際語になっている。

この恐怖については今さら語ることは無いでしょう。

では、標記の高潮とは?

高潮は、台風や低気圧により水面が上昇し風に煽られ接岸する波だ。
これも災難と言えば災難だが、津波のような広範で甚大なことは無い。

この差は何か？

津波の場合は、海底からの地盤の跳ね返りによる底っから押し上げられた強大な力を持った水の壁。

高潮は、波の表面上をすくった風による波。

この差である。

実は営業もそうなんです。

高潮とはつまり、テクニック偏重の営業です。

テクニックそのものをどうこう言っているのではありません。

テクニックは重要です。

でも、ここに力点を置くことはあまり得策とは言えません。

私に言わせれば、高潮である。

目新しいテクニックを追い求めることに躍起になることで、商いの原点である消費者不在の状況になるからです。

では津波とは？

想念とも言いましょうか？あるいは思いですね。

ここが根っこにあってきちんとしたテクニックを使って、オーナーなり経営者が実現したいと思った、解決したいと思った理想をしっかりと伝えことです。ご理解頂くことです。

ここがしっかりとすれば、あなたのビジネスの成長は確かなものになるでしょう。

売ることだけが突っ走りがちですが根っこを押さえた営業こそ真の力こぶになるかと思えます。

津波のような気合いの入った営業手法の確立こそが中小企業がやってて面白いやりがいのある事業となることでしょう

そこを応援するのが私たち中小企業営業支援会です！

新年度新人を入れるのも良いけど、現状のまま大きな数字を稼いでみませんか？

居ながらにお客さんとのしっかりした関係が築けて数字も上がる!
そんな営業法を実践するのが私たち中小企業営業支援会です。

●役立つ教材のご案内●

そこで、もっと突っ込んだ作業の流れや具体的な作業、証拠、実際のツールにご興味ありましたら、是非とも「PC顧客獲得術」の活用をお勧めいたします。

ここに書かれた手法、考え方、実際の資料は余すことなく盛り込まれております。もちろんへ理屈や理論、コムツカシイことはございません。どちらかといえば、膝をたたいて、笑いこぼれる中であなたの中にパラダイムシフトを起こすことが可能かと思えます。

あなたとの、再会を心よりお待ちしております。

おつき合いありがとうございます。そして、あなたの成功を心よりお祈り申し上げます。

「PC顧客獲得術」の購入・特典のご確認は、
<http://enirvana.biz/pc.html>
までお願い致します。

特典に+αが加わりました!

DVD版若干数だけあります!お急ぎ下さい

○「幸運」は「大胆に」味方する エラスムス
(オランダ人文主義者 1466-1536)

[後記]

先日、子供の保育園の卒園式がありました。
節目って良いな～なんて考えてました(^^)
毎日毎日が繰り返しになりつつある中、子供の行事のお陰で何となく暦を意識して時節を感じるような気がします。
先生方の涙も、新鮮で純粋にいいものだな～なんて感慨がいっぱいでした(さとう)

意見・感想等→info@eNirvana.biz

購読登録・解除

ご不要の場合、このまま返信頂ければ以後お送りすることは
ございません。ご面倒をおかけしますがよろしくお願い致します。

発行元: 中小企業営業支援会 <http://www.eNirvana.biz>
関連サイト: 商魂倶楽部 <http://www.shoukon-club.com/>
発行責任者: 佐藤久彰 satoh@eNirvana.biz
312-0034 茨城県ひたちなか市堀口162-1-101
E-mail: info@eNirvana.biz
FAX: 029-276-5271 担当: 燃える商魂! 佐藤
TEL: 029-276-5201 (外出多いです)

著作権は当方に帰属いたします。(C)Copyright2005
